

世界のデング熱流行状況(更新 6)

2012年3月13日 ProMED 情報

(1)インドネシア(ジャカルタ)(3月12日)

1~3月までに北部ジャカルタで、患者174名が発生しました。患者はKoja分区が最も多く45名、Tanjungpriok分区が41名、Penjaringan分区が35名、Cilincing分区が30名、Pademangan分区が12名、Kelapa Gading分区が11名でした。

(2)フィリピン(バタン Bataan 島)(3月6日)

PHO 担当者によると、1~2月までの患者は364名で、昨年同期の患者は214名でした。死者患者は報告されていません。

(3)インド

2月現在の患者数は、ハリヤーナーHaryana 州1名、カルナータカ Karnataka 州22名、ケララ Kerala 州324名、マハーラーシュトラ Maharashtra 州25名、オリッサ Orissa 州2名、タミール・ナドゥ Tamil Nadu 州434名および死亡患者1名、ポンディシェリ Puducherry 連邦直轄領64名および死亡患者1名です。国内全体で患者数が872名、死亡患者数が2名です。

(4)ブラジル

マト・グロッソ・ド・スル Mato Grosso do Sul 州(3月9日) 3月3日現在、保健事務局によると、同州ではカンポ・グランデ Campo Grande 市の89名を含む患者250名が報告されました。ジャーディム・エリアーヌ Jardim Eliane とコンジャントパラチ Conjunto Parati の居住者2名がデング熱ウイルス4型と確定診断されました。デング熱ウイルス4型は同州では初めての報告です。

パラ Para 州ブラガンサ Braganca(3月6日) 今年に入り、疑い患者は8名で、1名は輸入例と確定診断されました。

リオデジャネイロ州リオデジャネイロ(1月6日) 昨年の8月以来の死亡患者が報告されました。疫学情報の第9週(2月26日~年3月3日)までの累計患者数は9,640名です。

(5)アルゼンチン-ボリビア国境地域(3月8日)

3月6日までに、サルバドル・マッサ Salvador Mazza(アルゼンチン、サルタ Salta 州)で疑い患者97名が報告され、15名は否定されました。ヤクイバ Yacuiba(ボリビア)では、患者18名が確定診断され、疑い患者450名のうち35名は否定されました。国境地域では疑い患者が97名まで増加しています。患者7名がデング熱ウイルス2型と4型で、そのうち2名はボリビアへの渡航歴がありました。

(6)パラグアイ(コルディリエラ Cordillera 県、カークーペ Caacupe)(3月8日)

最新の統計で25名が確定診断されました。疑い患者は、カークーペで150名まで増加し、ピリベブイ Piribebuy で22名です。

(7)エルサルバドル(3月7日)

2月26日~3月3日の週は患者数は68名で、前週の80名と比較して減少しています。しかし、これまでの患者数は、昨年同期の280名と比較して、今年は735名と増加しています。

(8)ニウエ Niue 島(3月6日)

ニウエ保健当局によると、患者3名のうち2名が入院しました。